

総合科学部 日本語教員養成に関する科目

1. 概要：

総合科学部の専門科目「日本語教員養成に関する科目」として、日本語教授法Ⅰ・Ⅱ、日本語教育方法論Ⅰ・Ⅱ、日本語教育演習（日本語教材研究）の5科目を国際センター教育部門の教員が担当している。日本語教授法Ⅰ・Ⅱ、日本語教育方法論Ⅰ・Ⅱは隔年開講のため、2014年度は以下の3科目が開講された。

2. コーディネーター：橋本 智

3. 実施概要：

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2				日本語教育演習／ 日本語教材研究 (後期)	
3・4		日本語教育方法論Ⅰ (前期) 日本語教育方法論Ⅱ (後期)			
5・6					
7・8					
9・10					

日本語教育方法論Ⅰ 前期

- ・ 担当： 橋本 智
- ・ 受講人数： 12名（含．留学生－中国3名）
- ・ 使用教材： 「日本語教育文法講義ノート」山下暁美著 アルク 2008
「考えて、解いて、学ぶ 日本語教育の文法」原沢伊都夫著
スリーエーネットワーク 2010
- ・ 概要： 外国語としての日本語の文法を学んだ。特に日本語初級で扱う文法を取り上げ、どのような項目があるのか、どんな状況や文の中で使われるのか、どのように日本語学習者に教えるのか、などを学んだ。

日本語教育方法論Ⅱ 後期

- ・ 担当：三隅 友子
- ・ 受講人数：14名（留学生中国3名、スウェーデン2名を含む）
- ・ 使用教材：
 - ・「日本語教師の役割/コースデザイン」国際交流基金日本語教授法シリーズ1 ひつじ書房
 - ・「ことばの力学」白井恭弘著 岩波新書2013及びプリント
- ・ 概要：広く言語教育から日本語教育を見ることを行った。最初に留学生の日本語学習調査を行い、さらに言語を教えると学ぶのかかわりについて二つのテキストから概観した。言語教育の方法としてプロジェクトワークをとりあげ、最終パフォーマンスとして、美馬市脇町劇場オデオン座にて童話「しまひき鬼」という異文化理解をテーマとした演劇活動を行った。

日本語教育演習／日本語教材演習 後期

- ・ 担当：橋本 智
- ・ 受講人数：2名（日本人学生）
- ・ 使用教材：「みんなの日本語初級Ⅰ本冊」「みんなの日本語初級Ⅰ翻訳・文法解説」スリーエーネットワーク、「Teach Japanese 日本語を教えよう 第2版」河野俊之 凡人社
- ・ 概要：「みんなの日本語」初級Ⅰを使って、実際に履修学生が授業をする実習形式のクラスとした。このコースのために生徒となる参加者を募集し、3名（マレーシア3名）が参加してくれた。コースの前半では基本的な授業の流れを確認し、指導案を作成した。その後、各学生が3回ずつ授業を受け持ち、その後振り返りを行った。